



各団体が反対デモ

法反対 全共闘は初の街頭行動

民青・体育会

六日午後、街頭デモに移った。

六日午後二時三十分から、錦旗公園で「公開クラス連合準備会」(民青・主権の「学立法反対・全学バリケード封鎖反対」集会が開かれ、学生約二〇〇人が参加した。これに、本体育会の有志約五〇人も加わり、午後二時すぎからデモ行進に移った。

皇居周辺(東京駅―銀座―十條)までの約一時間、突然と「立法粉砕」を叫びながらゆっくり進んだデモ隊は、警備の校舎をなぎかき、暑い暑中に学生服を着た数千人のグループの珍らしいデモを見守る人も「学生服なんて似てしまつね」という声も聞かれた。なお、デモ隊は十時すぎ解散した。

全共闘

二十五日午後二時二十分から駿河台を通過した全共闘は、大学事務局からこの日予定していた大衆闘争を拒否されたため、これを強効集会に切りかえ、大学側の闘争拒否を強効する一方、「大学立法・中教養部閉鎖」を再擁護した。

カット上は、銀座付近をデモする全明クラス連合準備会の学生、下は二十五日の全共闘のデモ

日「大学立法反対明治大学全学集会」を開催し、開会演説デモを行なうことを決定した。これは文部省の太極紛争介入の

道を開き、思想・言論の自由の制限を結びつ、「大学立法」に反対し、廃絶にするよう運動するもので、午後一時清水谷公園で集会を開き、午後二時から総長、学長、学部長を先頭にデモを行なうものである。この日のコースは清水谷公園(二時)―国会議事堂(四時)―新橋(十時)。

一方、警備当局は八重洲口から機動隊によるサンドイッチ規制を始め、また数高階層交差付近では、デモ指揮の学生二人を逮捕した。この同強圧的な警備は「走るな、止まるな、声出すな、曲がるな、吠々となきなさい」といいたるが、デモ学生に「走る、つづく」など挑発的行動も行った。

この激しい規制の中を、日比谷公園まで行進したデモ隊は、総長演説を聞き、五時三十分過ぎ解散した。

教職員

四者連携会議(明治大学、数職員組合、専任教員連合会、職員会)は二十四日午後五時二十分から秀月荘で役員会を開き、七月一